

秋田市教育委員会  
会 議 録

平成 2 5 年 7 月定例会

秋田市教育委員会平成25年7月定例会会議録

- 1 日 時 平成25年7月25日(木)  
午後3時30分～午後4時40分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 委員長  
教育委員  
教育委員  
教育委員  
教育委員(教育長)
- 4 出席職員 教育次長  
教育次長  
総務課長  
総務課参事  
学事課長  
学校教育課長  
学校教育課教職員室長  
教育研究所長  
スポーツ振興課長  
文化振興室長  
生涯学習室長  
文化振興室参事  
秋田商業高校教頭  
秋田商業高校事務長  
秋田商業高校教諭  
御所野学院高校長  
御所野学院高校事務長  
御所野学院高校教諭  
公立美術大学附属高等学院副校長  
公立美術大学附属高等学院事務長  
公立美術大学附属高等学院教諭  
総務課長補佐  
学校教育課長補佐  
生涯学習室長補佐

總務課副參事  
總務課主席主查  
總務課主查  
總務課主查  
總務課主事

## 5 議 題

### 【付議案件】

議案第20号 平成26年度使用秋田市立秋田商業高等学校教科用図書採択に関する件

議案第21号 平成26年度使用秋田市立御所野学院高等学校教科用図書採択に関する件

議案第22号 平成26年度使用秋田公立美術大学附属高等学院教科用図書採択に関する件

議案第23号 秋田市社会教育委員の委嘱に関する件

### 【教育長等の報告】

(1) 全市一斉授業研究会について

## 6 議 事 午後3時30分開会

### 【平成25年6月定例会会議録の承認】

平成25年6月定例会会議録について、異議がないため承認された。

### 【会議録署名委員の指名】

委員長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

### 【付議案件】

議案第20号 平成26年度使用秋田市立秋田商業高等学校教科用図書採択に関する件

委員長 議案第20号「平成26年度使用秋田市立秋田商業高等学校教科用図書採択に関する件」について、事務局から説明願う。

秋田商業教頭 (秋田商業高校の概要について説明)

秋田商業教諭 (選定内容について資料に基づき説明)

委員 新規採択が多い理由は理解できる。学校や生徒の反応も

含めて吟味し決めていると思うので、採択に異議はないが、新しいものを入れて変えていくという取組は、先生も含めて、学校経営の意欲的な意思がはっきりと表れていると思うがどうか。

秋田商業教諭      その通りである。

委員                新規採択する教科書は、すべて新学習指導要領対応のものか。それとも、採択した中には、別の視点から新しく採択した教科書があるのか。採択した教科書があれば、その理由を教えてほしい。

秋田商業教諭      現在の3年生は、現行の学習指導要領に基づいているので、様々な教科書と比較した。本校の学習状況を見れば、継続でよいという各教科の判断であった。1、2年生は、新学習指導要領に基づいており、特に1年生は今年度使用している教科書と比較しながら、継続できるものは継続し、新しくするものは新しくするという考えで採択している。

委員                学習指導要領の変更以外の理由で、新しく採択した教科書はあるのか。

秋田商業教諭      今年度はない。

委員                すべて新学習指導要領への対応のため、教科書が新しくなったとの理解でよいか。

秋田商業教諭      その通りである。

議案第20号については、全員賛成により議決された。

議案第21号 平成26年度使用秋田市立御所野学院高等学校教科用図書  
の採択に関する件

委員長                議案第21号「平成26年度使用秋田市立御所野学院高等学校教科用図書の採択に関する件」について、事務局から説明願う。

御所野学院高校長      (御所野学院高校の概要について説明)

- 御所野学院高教諭 (選定内容について資料に基づき説明)
- 委員 2年時に文系理系の選択があるが、3年生になってから、文系への転換、理系への転換に対応できるのか。また、志望校については、1年生から目安を決めていると思うが、はっきりと目標とする大学を決める時期はいつ頃か。
- 御所野学院高校長 志望校の決定については、1年生から志望調査を行い、それを基に文系理系を選択する。1年生では、志望校は決まらないが、めざす学部学科が決まっている生徒が多い。2年生では、志望校が結構しぼられる。文系、理系へ、それぞれ転換する生徒は多少はいる。理系から文系への転換は十分通用するが、文系から理系への転換は、理科や数学で、大学の2次試験に対応できないところがあるのではないかと思う。
- 委員 中間コースはあるのか。
- 御所野学院高校長 中間コースは設けていないが、3年生で3つのパターンから選択し、自分で必要な科目を選べるようにしているので、就職や専門学校志望の生徒はそれを選べる。
- 委員 学力のばらつきがあるとのことだが、家庭学習の重要性を考慮に入れ、採用した教科書はあるのか。
- 御所野学院高校長 例えば、家庭学習の充実のために、英語では予習として単語や構文を調べるように指示している。数学では、練習問題を復習を兼ねてやるように指示している。
- 委員 具体的なイメージとして、設問が豊富であったり、家庭で解くことのできる教科書を採用しているということか。
- 御所野学院高校長 予習ができるようにしている。
- 委員 幅のある生徒が集まっているとのことだが、教科書を簡単だと思える生徒も中にはいるのか。そういう生徒に対する学校の対応はどのようにしているのか。
- 御所野学院高校長 英語や数学は学力の開きが大きいので、習熟度別授業とし、例えば2クラスを3つに解体し、応用コース、標準コース、ベーシックコースに分け、教科書を丁寧に学ぶコー

スや、ある程度基礎ができている生徒は応用問題を解くコースなどに分けている。副読本として問題集を取り入れているが、家庭学習においては、勉強が進んでいる生徒は、より高度な問題にチャレンジし、基礎を学ぶ生徒は必ず基礎問題を解くなど、上位の生徒は伸ばし、基礎を学ぶ生徒は基礎をしっかり押さえる、というようにやっている。

委員 新規の中で、印がついていないものは前年度と異なる教科書を選択したとある。数学・音楽 については理由がわかるが、他の新規の教科書で、前年度と異なるものを選択した理由を教えてほしい。

御所野学院高校長 例えば、英語については、授業内容を聴き取る力や表現する力を重視しており、それに見合ったより良い教科書を選ぶために教科書をかえることがある。地歴についてだが、必修として世界史Bや日本史Bを選択する生徒が多く、もう1科目選ぶ必要がある。例えば、世界史Bを選ぶと、日本史Aを選ぶことになる。できるだけ広く、現在社会問題になっている部分を取りあげ、テーマ別に説明するためかえたものである。英語は説明のとおりである。

委員 日本史は、生徒の選択が昨年度と変わったので、生徒の実態に合わせるためにかわったということでのよいのか。

御所野学院高校長 その通りである。さらに、この教科書がテーマ別の章立てとなっており、テーマで学習させた方が良いという観点もあり、採用している。

委員 昨年度と比べて、指導のやり方をより良くするため、考え方が変わったのか。

御所野学院高校長 その通りである。

委員 音楽 はどうか。

御所野学院高校長 音楽史を扱うためにかえたものである。

委員 これも指導方針が昨年度と変わったためか。

御所野学院高校長 その通りである。

委員長 芸術については、先生が非常勤という話があった。音楽

は先生が替わっており、3冊の教科書のうち2冊が新規である。美術と書道は先生が替わらなかったのも、教科書も継続していると思う。規模にもよるが、高校の場合、芸術教科に複数の先生がいて、教科部会で意見を闘わせるのは難しいと思うが、特に、非常勤の先生の場合は、意見を闘わせることなく、非常勤ではない先生の考えで進みがちである。次年度の教科書選定にあたり、このように検討してほしい、または、非常勤の先生に事前をお願いしていることはあるのか。

御所野学院高校長 教科書の選定にあたり、サンプルを見比べ、生徒の実態を考慮しながら、より適切な選択をお願いしている。

委員長 非常勤の先生たちから、教科書の選定に対し、要望や意見は出ているのか。

御所野学院高校長 はじめに、非常勤の先生から採択を希望する教科書をあげてもらい、その意見の妥当性を選定委員会で審議する。先生の意見が反映されることが多い。

委員長 特段の問題はないのか。

御所野学院高校長 すべて検定済みの教科書が選定対象となるので、問題はない。

委員長 芸術教科は学力差があるのか。

御所野学院高校長 実技教科なので、県展入賞者から基礎を指導しなければならない生徒まで分かれている。

委員長 御所野学院高校の芸術教科は、特に注目されている部分でもあると思う。

委員 大学入試については、推薦を含め、様々な選択肢があると思う。推薦で合格する生徒とセンター試験で合格する生徒の比率はどうか。推薦の場合、在学中の成績も基準になると思う。生徒たちが目指すのは推薦入学が多いのか。

御所野学院高校長 推薦を含めると最高3回受験できる。内訳は、AO入試、推薦入試、一般入試である。できるだけチャンスをいかすように、と指導している。推薦であっても、センター試験

を踏まえた推薦が増えてきたので、学力もしっかりつけさせている。

委員 推薦の比率はどうか。

御所野学院高校長 専門学校志望では、推薦入試に1回チャレンジすると、3分の2は合格している。国公立大学は希望を出しても評定のしぼりがあり、最終的な合格者はしぼられる。最も割合が高い場合は、3分の1が合格している。

議案第21号については、全員賛成により議決された。

議案第22号 平成26年度使用秋田公立美術大学附属高等学院教科用図書採択に関する件

委員長 議案第22号「平成26年度使用秋田公立美術大学附属高等学院教科用図書採択に関する件」について、事務局から説明願う。

美大附副校長 (秋田公立美術大学附属高等学院の概要について説明)

美大附教諭 (選定内容について資料に基づき説明)

委員 美大が開学して、ハードルが高くなったとのことだが、学力のスキルアップも必要であると思う。美大の推薦枠は3人だが、推薦にあたり、美大の考えにもよるが、学力と実技のどちらを重視しているのか。

美大附教諭 本校では推薦枠の人数しか受験しない。前期入試に関しては、学力と実技は同等に扱われる。それゆえ、実技で挽回できる。学力の底上げについては、専門的な学力を高めるために、夏休みも含め、対策を行っている。また、美大との連携授業を実施し、美大の先生の講話を聞いたり、指導してもらったりしている。

委員 一般的には理解できるが、芸術分野では才能にあふれる人を伸ばすチャンスがあってよいと思う。推薦の時にどう

するかという点は、悩ましいと思うが、そういう面に目を向けて育ててほしい。学力が不足している場合は、優れている面を伸ばすことができれば良いと思う。

委員 美大の推薦枠が3名とのことだが、一般入試を含めて、1学年30名のうち、美大志望の割合はどうか。

美大附教諭 美大志望についてではないが、センター試験を受けながら、4年制大学に進みたいと考える生徒は4割程度である。

委員 その生徒たちが美大に進学するための対策として、選定した教科書はあるのか。

美大附教諭 特に、英語で考慮した。1年生では中学校の学習を学び直して、2年生では、それを更に伸ばせるような基本から応用まで入っている教科書を選び、3年生では、教科の選択として、2年生から継続してきた学習を積み重ねる部分と4年制大学に進学を希望している生徒の力を高めるものと、一般的に基本を学べるものという全員が扱える教科書となっている。

委員 英語に対する苦手意識はあるのか。

美大附教諭 毎週英単語の確認をしたり、昼休みに5～10分程度講習をしたり、放課後も補習を行うなどして、英語と国語を中心に底上げをしている。我々もできる限り応援したいと思っている。

議案第22号については、全員賛成により議決された。

#### 議案第23号 秋田市社会教育委員の委嘱に関する件

委員長 議案第23号「秋田市社会教育委員の委嘱に関する件」について、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

委員 会議の頻度はどのくらいか。

生涯学習室長 会議の規則では隔月開催となっているが、昨年度は5回

の開催であった。

委員長 新任の6名を教えてください。

生涯学習室長 長谷川さん、野崎さん、吉川さん、田子さん、湯浅さん、  
山内さんである。

議案第23号については、全員賛成により議決された。

#### 【教育長等の報告】

##### (1) 全市一斉授業研究会について

教育研究所長 (資料に基づき説明)

#### 【その他、事務局から】

##### (1) 教育委員会事務の点検・評価について

総務課長 (教育委員会事務の点検・評価の素案がまとまり、素案に  
対する意見をもらいたい旨を説明)

##### (2) 8月の教育委員会関連行事予定について

総務課長 (8月の行事予定について、資料に基づき報告。また、  
行事予定に記載していない7月28日の1000万人ラジオ体  
操と8月28日の第2回学校訪問についても報告。)

委員 ラジオ体操について、当日の天気が微妙だが、事前に連  
絡はあるのか。

スポーツ振興課長 当日は専用ダイヤルが設けられており、天気が微妙な場  
合は確認してもらいたい。また、NHKでも午前5時台の  
放送で開催の可否を流すとのことである。

##### (3) 年間観覧券の販売状況について

- 文化振興室長 (販売状況は、4月～6月で千秋美術館が298枚、赤れんが郷土館が24枚、佐竹史料館が26枚であることを説明)
- 委員 予想から見てどうか。
- 文化振興室長 千秋美術館の観覧券は、年度区切りとなっている。販売数は、4月が119枚、5月が155枚、6月が24枚、7月が5枚である。年度区切りということで、例えば企画展を4回鑑賞すると、3,200円のところ2,500円となるが、1回見に行かないとすると、お得感が感じられなくなる。今後の販売においては、同じ企画展を2回見たい人が対象になるのではないかと思う。
- 委員長 販売枚数から考えると、施設に足を運んで、芸術に触れてみたい人のほとんどは、まずは千秋美術館からということなのか。
- 文化振興室長 そのように思う。企画展が魅力と思われる。
- 委員 年度区切りではなく、できれば1年間有効となれば良いと思う。
- 文化振興室長 千秋美術館と話をして、検討したい。
- 委員 千秋美術館は年間スケジュールがあり、おおよその金額はわかるが、年度途中から購入しても企画展等の値段がわからないような設定があっても良いのではないか。年度区切りとするより、売りやすいのではないか。使う側もいつでもよければ購入するのではないか。
- 委員 大森山動物園のパスポートは発行から1年間有効である。
- 文化振興室長 赤れんが郷土館と佐竹史料館は、発行日から1年間有効となっている。
- 委員長 千秋美術館は、なぜそのようになっていないのか。
- 委員 千秋美術館は、金額を決めにくい部分があるのではないか。
- 総務課長 千秋美術館の観覧料は、金額に幅を持たせて毎年決められるように条例を整備している。例えば、年間4回企画展を開催する場合、観覧料が1回800円とすると、4回で3,200

円となる。ただし、翌年度の企画展の内容によっては、観覧料が1,000円の場合などが有り得るため、当面は1年間に予定している企画展について観覧料を決めたいという考えである。指摘があった部分なども踏まえた上で、一定額の年間観覧券を検討していきたい。

委員 市の予算の関係があると思うが、上野や東京都美術館などを参考にして、調べてもらいたい。市民が何回も足を運ぶことが目的だと思う。年間観覧券があれば、散歩がてら行ってみようという気持ちにもなると思うので、検討してほしい。

文化振興室長 他の施設も参考にして、検討したい。

#### (4) 泉中学校の動画投稿等について

学校教育課長 (泉中学校の生徒や教職員の安全を脅かす内容が動画投稿サイト等に投稿された件について、行為に及んだ者を秋田地方検察庁に書類送致したことを報告)

#### 【その他、委員から】

委員長 7月11、12日に福島県会津若松市で行われた東北六県市町村教育委員会連合会定期総会に出席した件を報告する。11日は、総会と情報交換会が行われ、東北六県から教育委員長、教育長、連合会の代議員、幹事、事務局の25名の参加があった。情報交換会では、2県ずつ担当テーマが割り振られた。テーマは、「いじめ問題」「特別支援教育問題」「ICT教育」の3つで、テーマに対する各県の回答資料が手元にある状況で説明し、意見をもらう形である。本市を含む2市が担当したICT教育では、両市のICT機器の整備状況がかなり違っており、例えば公用コンピュータの整備率は、秋田市は100%であったが、もう1

市の方は13.3%であった。その他、パソコン1台あたりの児童生徒数や1学校あたりの電子黒板整備台数、普通教室のLAN整備率など、全てにわたって、本市のデータが上回っていた。情報交換終了後「良い発表だった」と言ってくれた委員長もいた。2日目は、文部科学省の布村高等教育局長が「初等中等教育における諸課題」と題して講演を行った。内容は、教育再生実行会議の第1次提言「いじめ問題への対応について」、第2次提言「教育委員会制度等のあり方について」、第3次提言「これからの大学教育等のあり方について」であった。

つづいて、会津若松市生まれ、在住のエッセイスト大石邦子氏の講演であった。原稿に目をやることなく、訴えるように話を続けられた。大石氏は、就職して2年目に、通勤途中のバスの事故で半身不随になり、その後難病にかかった。大石氏の闘病の話に、会場の人たちは、目に涙を浮かべていた。演題は「八重の生き方に学ぶ」ということで、すばらしい講演であった。

会津若松市は初めて訪れたが、市内には、「やっではならぬ やらねばならぬ ならぬことはならぬものです」という「あいづっこ宣言」がいたるところに貼られていた。今もこの宣言が生きているという感じを受けた。初心に帰って頑張らなければならないと思った2日間であった。来年は岩手県での開催が予定されている。

#### 【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 教育委員会8月定例会は、8月22日(木)午後3時30分からを予定している。

午後4時40分閉会

以上